

# せとうちちょう 議会だより

第148号

平成 25 年 2 月発行

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地

安心・安全なまちづくりに  
議員一丸頑張ります



副議長  
岡田 弘通



議長  
安 和弘

議会構成決まる



委員  
安 和弘



委員  
向野 忍



委員  
元井 直志



副委員長  
渡島 芳臣



委員長  
林 健二

総務経済常任委員会



委員  
岡田 弘通



委員  
稲田隆一郎



委員  
中村 義隆



副委員長  
池田 啓一



委員長  
鎌田 愛人

文教厚生常任委員会

委員  
鎌田 愛人

委員  
林 健二

委員  
岡田 弘通

副委員長  
渡島 芳臣

委員長  
池田 啓一

議会運営委員会

# こんなことを決めました

改選後初の議会、第4回（12月）定例会は、12月12日～20日までの9日間の日程で開かれました。はじめに正副議長選挙、常任委員会・運営委員会委員の選任、各広域事務組合議会議員の選挙等を行い、新しい議会構成が決まりました。

また、補正予算議案7件、契約議案1件、条例議案3件、人事議案2件、その他議案3件、議員発議3件の計19件の議案を審議し可決しました。

（主な議案等の要旨は次のとおりです。）

大島地区広域事務組合議会議員は、次のとおりです

消防組合議会議員に

向野 忍議員

農業共済事務組合議会議員に

元井 直志議員

介護保険一部事務組合議会議員に

中村 義隆議員

衛生組合議会議員に

池田 啓一議員

## 一般会計補正予算 (第5号)

台風17号関係災害復旧費として8億1370万円余を補正

主な内容は、台風17号災害復旧費関連として農地災害復旧費に2636万3千円、林道災害復旧費に2億450万円、道路橋梁河川災害復旧費に5億7004万2千円、社会教育施設災害復旧費に1256万円など合計8億1370万1千円。

また、被災者生活支援金1410万円、障害者自立支援費扶助2800万円、畜産振興整備（諸鈍地区に敷料保管庫）1000万円、畜産振興タイヤショベル購入504万円、枯れ松支柱木除去（町内一円）1700万円、救急艇のエンジン

のオーバーホール810万円などです。  
総額8億819万2千円を追加しました。

## 清水公園の管理に関する条例の制定

清水公園の健全な利用の促進を図り、住民の福祉の増進に寄与することを目的に、清水公園の「陸上競技場」、「器具類」、「照明施設」、「庭球場」、「総合体育館」の使用料等を定め、4月1日より施行するものです。

## 税条例の一部改正

個人住民税の寄付金控除の制度拡充による条文の整備と軽自動車税の納期を現在の「4月11日から4月30日まで」を「5月1日から

5月31日まで」に変更するものです。

## 議会会議規則の一部改正

地方自治法の一部改正に伴い、本会議において公聴会の開催及び参考人の招致が可能となったことにより、「公聴会」及び「参考人」規定を新たに設けるものです。

教育委員会委員に

森山 力藏氏

監査委員に

中村 義隆氏

# 一般質問

第4回（12月）定例会では、8名の議員が町政全般に亘り、質問・提言を行ない議論を交わしました。一部を要約して、紹介いたします。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



林 健二議員

## 議員 消防・防災体制の強化について

消防分署・消防団・自主防災組織の強化を図り、新たに「危機管理室」を設置するお考えはないかお尋ねします。

町長 危機管理室の設置については、他の市町村の状況を見据えながら、検討させて頂きたいと思えます。

## 議員 情報発信のまちづくりについて

1. 網野子バイパス開通前に、本町経済の活性化を目的とした情報発信（ICTを活用）を行う必要があると思えますが、町長の見解を求めま

す。

2. 若者の定住対策、Uターンできる地域社会を構築するため、どのような取り組みをされるお考えなのかお尋ねします。

町長 1. 本町としましてもICTの活用は推進すべきと考えております。

2. 町、各種団体、事業者等との連携を強化しながら経済の活性化、定住促進に取り組んで参ります。

## 議員 一次産業の振興と観光の融合について

本町に於ける一次産業の振興と体験型観光をセットにした観光の商品化、PRが更に必要だと考えます。

それと加計呂麻島・請島・与路島の三島それぞれの観光振興の戦略があればお聞かせ下さい。

町長 一次産業と体験型観光の融合は大変重要であり、今あるメニューの拡充と、

現在計画中の体験交流館での体験メニューとしても部会で検討しているところで

また加計呂麻島・請島・

与路島の観光振興につきましても、平成27年度に開所予定の体験交流館を拠点に、情報発信を行って参ります。

## 議員 健康増進事業と子育て環境について

本町独自の「健康増進事業」の推進と、子育て環境の充実を図るために、どのような取り組みをされているのかお尋ねします。

町長 毎年、各種検診や特定健診等を実施し、保健師及び看護師が対象者と話し合い健康指導を行っております。

また、今後の新たな取り組みとしましては、生活習慣改善の意識づけを目的とした「健康切符」を発行し、

町民と一体化した健康増進に取り組んで参ります。

## 議員 教育・文化・人材育成について

教育・文化の町として人材育成にどのようなお考えをお持ちなのか、また学校統合問題に対する見解と併せてお聞かせ下さい。

教育長 いつでも、誰でもどこでも、生涯を通じて学習する機会が得られるように努めて参ります。学校統合につきましては現時点においては厳しい状況にあり

ますが、集合学習やへき地交流学习を通して、少人数校での学習環境の充実を図って参ります。



向野 忍議員

### 議員 安心・安全なまちづくりについて

一昨年来の集中豪雨、続けざまの台風により復旧工事も間に合わないまま同じ地域等が甚大な被害を受けた。これらを教訓に安全・安心なまちづくりのための迅速かつ具体的な対策を取るべきである。

早急な地域防災計画等の抜本的な見直しを図るべきと思うが町長の見解を伺います。

**町長** 基本的に国・県との整合性を図りながら見直しを行っております。今回の台風、豪雨等の危機事象を

ふまえ、地域防災計画の適宜な見直しは必要だと思っております。

### 議員 産業振興・雇用の創出について

一、産業振興・雇用の創出を基本に奄振法改正に向け「奄美群島成長戦略ビジョン」が策定されている。その施策等について伺います。

**町長** 奄美群島の将来像として、

- ①若者がチャレンジし、夢を実現する島
- ②全ての「島ちゅ」が主人公として活躍する島
- ③世界の人々に魅力を伝える宝の島の3つが示されております。

戦略の基本施策は、

- ①人材の確保・育成、教育
- ②奄美群島の魅力（自然・歴史・文化・人の温かさ・厳しさ・長寿・子宝）の活

用

- ③共生協働の推進、交流・連携の強化
- ④市場の拡大（人とモノ）となっております。

### 議員 二、本町独自の農林水産業資源を生かした産業育成と若者の雇用創出の施策について伺います。

二、本町独自の農林水産業資源を生かした産業育成と若者の雇用創出の施策について伺います。

**町長** パッションフルーツ・タンカン・シイタケ等に付加価値を付けた独自の産物を活用した六次産業化を推進して参ります。特にタンカンとパッションフルーツの規格外品を有効活用し農家の所得向上と雇用の創出を促進したいと考えています。

将来の島を支える人材の育成に向けた取組について教育長の見解を伺います。

### 議員 教育について

将来の島を支える人材の育成に向けた取組について教育長の見解を伺います。

**教育長** 子供たちに基礎・基本の学力を確実に身に付けさせることはもとより、体験活動を重視する中で考える力を養い、豊かな心をもち、たくましく生きる能力、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる

能力、いわゆる「生きる力」、「生き抜く力」を備えた人間の育成を図り、他人を思いやる心、生命を尊重する心、感動する心などを育む教育を推進しなければなりません。



岡田弘通議員

### 議員 防災・減災対策について

一、災害に強いまちづくりの諸施策の推進を図る為には、まずは、専門家等に調査をさせるべきと思います。特に、この数年の豪雨災害により、連続して床上・床下浸水のあった地域、加計呂麻島の孤立集落、古仁屋市街地の雨水・

排水対策を優先して調査させ、今後の防災計画に反映させるべきと思うが町長の考えを伺います。

**町長** 検討して参ります。

二、FM放送が、いまだに聞こえない地域がある。現在の難聴集落名と難聴対策、いつごろまでに解消できるのか。具体的な資料を提出していただきたい。

**企画課長** 今年度中には解消を図りたい。具体的な資

料を早急に提出します。

## 議員 各種協議会について

## 議員 枯松処理対策について

現在は、補助事業を導入して処理を行なっているが、現場処理が補助対象となつている。この為、道路沿いに枯松が山積される等、環境的に良くないのが実情である。

観光立町、交流人口増に力を入れていくが、観光道路としての価値が損なわれているのが現状であるので、現場処理の方法ではなく、環境に配慮した処理方法を講ずるべきと思うがどうか。

また、「この枯松が二次災害の予備軍となつてくるので、抜本的な対策を講ずるべきと思うが考えを伺います。

町長 総合的な観点から検討して参ります。

現在設置されている委員会（「自衛隊拡充・誘致推進協議会」、「古仁屋高校振興対策協議会」、「加計呂麻体験交流館建設検討委員会」、「文化会館（仮称）建設検討委員会」）の委員は、町内の各種団体等の代表等、これまで同様の委員の構成となつているので、それぞれの専門知識を持った方や経験を積み重ねた町外の方々等を委員に入れるべきと思うが考えを伺います。



鎌田愛人議員

## 議員 災害に強いまちづくりについて

①台風襲来時に、本島側の漁船や貸し切船など陸揚げ出来ない船舶の避難の現状と今後の対策について伺います。

町長 現状については久慈湾（浦地区）・篠川湾・阿鉄湾・古仁屋港（手安地区）を利用しております。

今後は漁協や貸し切船等関係団体の意見や要望に基づき、必要な改善策について関係機関へ要望していくことを考えております。

## 議員 ②災害本部長の町長としての心構えを問う中で、

台風襲来時の行動について、台風16号、17号の時、町長はどこで、何をしていたのか伺います。

町長 台風16号の時には、東京でサンプレイの宮畑代表と会い、大相撲の慶天海の祝賀会、観光大使（永井龍雲氏）の依頼に行きました。

17号の時には、九州防衛協会の会が宮崎であったので、これに出席しました。

議員 度重なる台風襲来、町民が不安と恐怖の中、台風が過ぎ去るのを待つしかない中で、いかなければならない出張だったのか、残って、災害が起ること想定して対応すべきだったのではないのか。

町長 災害対策本部とは電話で連絡しております。本部長として指令を出さなければならぬ、そういうのは怠ってないと思っております。

議員（指摘） 台風が来ることを分かっている、町長は出張に行っている。優先すべきは、町民の生命と財産を守ることではないのか、それに対応する準備をするのが行政のトップの使命だと私は思います。

議員 加計呂麻島展示・体験交流館事業について  
管理運営と体験メニューの今現在の進捗状況を伺います

町長 管理運営は開所から数年は行政が運営する予定で、体験メニューは現在部

です。

会において収集しています  
が、まとまり次第、提供者  
を募る作業に入ります。

○その他の質問

\* 災害に強いまちづくりに  
ついて(河川の氾濫防止対

策、国道58号線の道路寸断  
時の救急搬送対策につい  
て)

\* 自衛隊の誘致・拡充につ  
いて

\* 古仁屋高校の振興対策に  
ついて



元井直志議員

**議員** **災害の復旧につ  
いて**

相次ぐ台風の襲来による  
土砂崩れ等の災害復旧に対  
する町当局の計画、進捗状  
況をお尋ねいたします。

**町長** 23年度災害は、66件  
全てを本年度に繰り越し実  
施しており、年度内完工に  
努めています。

24年度災害につきまして  
も、大半を繰り越しますが、  
生活路線・河川の優先発注  
を進め、早急な交通規制の  
解除と二次災害の防止に努  
めます。また、小規模な一  
般単独災害や河川・水路の  
埋塞、施設補修等について  
は、緊急性・危険性を優先  
し対処して参ります。

**議員** **観光地の整備に  
ついて**

本町には、観光地として整  
備すればもっと観光客を呼  
べるのではと思える場所が  
あります。たとえば、阿木名

の海岸端に重野安釋氏(しげ  
のやすつぐ)の寺子屋跡があ  
りますが、町で買い取り寺子  
屋を復元(トイレ完備)して、  
観光地化してはいかがでし  
ようか。

また、トイレ設置を希望す  
る集落には維持管理を各集  
落で行うということを条件  
にして進めてはいかがでし  
ようか、町当局の考えをお聞  
きします。

**町長** 阿木名集落の重野安  
釋氏の寺子屋跡地整備につ  
きましては、今後の本地域  
への集客等を考慮しながら  
検討していきたいと思っ  
ております。

各集落にトイレを設置し、  
維持管理は集落にというこ  
提案ですが、義務的に発生  
する浄化槽管理委託料、法  
定検査料、その他消耗品等  
の費用が毎年発生し、集落  
負担が大きなものになって

くると考えられますので、  
慎重に取り組んでいかな  
ければならないと思います。

**議員** **教育環境の整備  
について**

1. 教育は社会の基本であ  
り、何よりも重要なものであ  
ります。少子化の現状には町  
当局も苦慮されていること  
と思いますが、当局で考えて  
いることが、していること  
があるのかを伺います。

**教育長** 現在、校区外から  
小規模小学校への通学を認  
める特別認可制度や町外か  
ら加計呂麻地区への家族と  
ともに転入する「にほんの  
里・加計呂麻留學制度」を  
実施しております。

また、小人数学校におけ  
る、学習環境の充実を図る  
ため、集合学習及びへき地  
交流学习等を実施していま  
す。

**議員** 2. 阿木名小中学校  
の体育館建て替えについて  
の考えを伺います。

また、プール建設について  
も、以前から要望しているが、  
全く進展しない。体育館と併  
設でもいいので、検討できな  
いのか、町当局の考えを伺  
います。

**教育長** 阿木名小中学校の  
体育館は、昭和41年の建設  
で老朽化が危惧される施設  
であります。平成25年度に  
おいて耐震診断を実施する  
計画であり、また、学校教  
育施設の整備方針としては、  
優先順位が高い施設である  
と判断しており、今後の教  
育施設整備の中で検討して  
参ります。

学校プール整備につきま  
しては、学校教育施設全体  
での優先順位や財政面等も  
ありますので、検討課題と  
考えております。



渡島芳臣議員

### 議員 本町の活性化対策について

第1回クロマグロのまち瀬戸内町「食の祭典」が、せとうち海の駅で開催されましたが、企画・運営の仕方、予算規模、経済効果、地域活性化に及ぼす影響、今後の取り組みについて伺います。

町長 第1回「食の祭典」は、奄美力戦略会議・瀬戸内地区委員の提言を基に、クロマグロを生かした地域活性化戦略事業として、事業費補助金を受け、150万円で実施しました。今後クロマグロの町として定着できるように、効果的なPRイベントを実施して参ります。

ます。

### 議員 観光振興について

1. 本町で養殖されているクロマグロ、真珠、クルマエビ等を活用した体験型ツアーの戦略を伺います。

町長 今後も引き続き事業所と連携を図りながら実施して参ります。また、観光客獲得の為、これからも旅行エージェントや新聞社、雑誌社、学校等へのPR活動を実施して参ります。

議員 2. 「奄美のイルカ・クジラ2012歴史と今から創造する未来」のシンポジウムが本町でありました。この調査内容とウォッチングの実現に向けての取り組みを伺います。

町長 大島海峡には多くの

イルカ・クジラの目撃がありますので、大島海峡でのウォッチングの可能性について検討することを目的に開催しております。7年間で174回の目撃があり、冬期の鯨類ウォッチングの実現に向け、関係者と検討して参ります。

### 議員 住宅リフォーム助成制度について

今年度の申し込み件数及び経済効果の予想、この助成制度を周知させる為の広報方法を伺います。

町長 町民が住宅のリフォームを行う場合に、経費の一部を町が助成するもので建築業者の活性化を図る目的で実施しています。助成件数は、11月末で14件であり、年度内の予算30件分が助成された場合、約3160万円程度が工事実

績として予想されます。町民への広報方法は、「町ホームページ」や「広報せとうち」を活用し周知を図っております。

### 議員 救急輸送について

台風時等しけの為、救急船

が請島、与路島に航行できない場合の緊急時の患者輸送方法を伺います。

町長 海上保安署へ連絡を取り、奄美市に配備されています。「かいもん」、「いなみ」に依頼するようになっていきます。



中村義隆議員

### 議員 奄美群島日本復帰60周年記念について

来年は復帰60周年になりますが、本町は、どのような企画でしょうか。

町長 広域事務組合において「奄美群島日本復帰60周年交流推進事業」を計画し

### 議員 農業振興について

ており、その中で本町が関われるもの等については、取り組んで参りたいと思います。

サトウキビ振興についてハーバスターの購入計画はないでしょうか。

町長 栽培農家の高齢化や栽培面積の減少などの振興方策として、近年小型化が進んでおりますサトウキビ

収穫用ハーベスターを来年度離島振興事業において導入の予定であります。

の自主的な協力により管理されており、道路管理者としては、定期的な伐採や選定を行っており、関係機関で毎年実施される交通安全対策会議、交通安全総点検・合同現場診断等の道路診断に基づき指摘・要望を受け、樹木の選定等について危険性を考慮し、近隣住民のご理解の上実施しております。

### 議員 古仁屋市街地の街路樹について

古仁屋市街地に町が整備した街路樹は何力所あり、管理はとられているのか。

町長 管理につきましては、主に地域自治会や近隣住民

施設補修等について緊急性・危険性を優先し、重機借り上げ等の外注及び、直営作業により対処しているところ。です。

古仁屋市街地の水害対策については、抜本的な対策は大きな課題であり、被害対象住民や関係機関と連携を図りながら検討して参りたいと考えております。

古仁屋市街地の水害対策については、抜本的な対策は大きな課題であり、被害対象住民や関係機関と連携を図りながら検討して参りたいと考えております。

### 議員 2. 陸上自衛隊の誘致や海上自衛隊の拡充について

現在の現状と今後の計画をお聞かせ下さい。

町長 平成24年2月に推進協議会11名により、国会議員、陸・海幕僚長（代理総務部長）に会い要望書を提出し、必要性を訴えてまいりました。その後、具体的な進展はなく今日に至っている状況です。国の防衛施策を注視しながら、今後

自衛隊との親睦を図りつつ、粘り強く要望・陳情活動を続けて参りたいと思います。

### 議員 3. 町の産業振興の一環として町営農園やマグロの町営養殖等は、雇用の拡大にもなると思うが考えをお聞かせ下さい。

町長 現段階において、町営農園とマグロの町営養殖等の考えはありません。町の方針として、個々の農家を育成し、体験型農園や観光と連携した民泊型農園を推進して参りたいと考えています。

マグロ養殖は、数十億円という膨大な事業費がかかります。また、漁業権取得は地域の理解と漁業権者の同意が必要で、特に漁業組合であることが条件にもなるので、マグロの町営養殖は困難であると思います。

## 編集後記

◆新しい議会構成のもと、町民の皆様の負託にこたえられるよう、議員10名一丸となって頑張ります。

◆議会報編集委員会も、主に一般質問や委員会活動を中心に議会の状況を皆様にお届けできますよう、限られた紙面ではございますが、精一杯取り組んでまいりますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

◆季節の変わり目、健康にはくれぐれもご留意ください。皆様のご健勝を祈念いたします。（委員一回）

### 議会報編集委員会

委員長	林 健二
副委員長	鎌田 愛人
委員	安 和弘
委員	岡田 弘通
委員	池田 啓一
委員	吉見 洋和



池田啓一議員

### 議員 今後の町について

1. 災害地の復旧事業の現状と災害に強い町づくりに向けての計画について伺います。

町長 ①道路災害については、生活路線の優先発注を進め、早急な交通規制の解除と二次災害の防止に努めます。

②各集落の水害対策については、河川・水路の埋塞、

河川・水路の埋塞、